

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績				
【法人名】 公益社団法人 埼玉県農林公社	目標	農地中間管理事業の転貸面積 【令和2年度目標】 2,200ha 【令和3年度目標】 2,200ha 【令和4年度目標】 2,200ha	就農予備校等の受講者数 【令和2年度目標】 70人 【令和3年度目標】 70人 【令和4年度目標】 70人	分収林の整備面積 【令和2年度目標】 280ha 【令和3年度目標】 280ha 【令和4年度目標】 280ha	農林公園の利用者数 【令和2年度目標】 122.5千人 【令和3年度目標】 123.8千人 【令和4年度目標】 125.2千人	収益事業収入 【令和2年度目標】 30,700千円 【令和3年度目標】 31,100千円 【令和4年度目標】 31,500千円
	各年度の実績	【令和2年度実績】 1,345ha 【令和3年度実績】 1,578ha 【令和4年度実績】 1,219ha	【令和2年度実績】 71人 【令和3年度実績】 81人 【令和4年度実績】 71人	【令和2年度実績】 226ha 【令和3年度実績】 156ha 【令和4年度実績】 192ha	【令和2年度実績】 118.0千人 【令和3年度実績】 119.2千人 【令和4年度実績】 122.3千人	【令和2年度実績】 33,796千円 【令和3年度実績】 33,757千円 【令和4年度実績】 36,875千円
	法人による自己評価	新型コロナウイルス感染防止の観点から、中間管理事業の地域説明会が中止や延期となり、令和4年度の目標転貸面積を下回る実績となった。 今後は、地域計画の策定と合わせて事業推進するとともに、関係機関と連携し説明会を実施することで、地域を単位とした面的集約を図っていきたい。	休日就農相談会、就農支援セミナーなどの機会を通じて、就農に向けた公社プログラムの説明・周知を図ったり、ホームページを活用することで、令和4年度も受講生を確保することができた。 今後も引き続き、広く周知することで受講生を確保していきたい。	将来のリスクに備えるため、平成30年度から植栽をとりやめたことにより、下刈は徐々に減少しているが、生育状況に応じて枝打や保育間伐など適切な施業を行う必要がある。 令和4年度は、育成状況により下刈や間伐の実施を見送った事業地があったため目標を下回ることとなったが、おおむね適切な施業を行うことができた。	利用者数＝農産物直売所利用者＋研修室等利用者数＋学習体験等利用者数 令和4年度の農産物直売所利用者数は計画を上回ることができたが、研修室や学習体験の利用者数は、前年度実績を上回ったもののコロナ禍の影響が残り、目標を達成することができなかった。	収益事業の柱は、農林公園農産物直売所の販売収入であるが、同直売所では令和4年度も埼玉ブランド農産物のほか、有機JAS認証取得農産物等を取り扱う等、利用者の多様なニーズに対応した。また、ホームページやInstagramなどによる情報発信を継続したことや、イベントを再開できたこと等により目標を達成することができた。